

上映作品

高津川

(113分)



●日時: 2024年10月6日(日) 10:00~

※上映後、錦織監督トークあります

●会場: スサノオホール 大ホール

●料金: 一般 1,000円、18歳以下 500円

※未就学児無料

これはきっとあなたの物語



当たり前だからこそ忘れてはいけない大切なことがある。

ダムが一つも無い一級河川「高津川」。下流まで透き通った日本一の清流。その流域で暮らす人々の日常の葛藤。それはどこかで起きた特別な話ではなく誰にでも起こる、どこにでもあるもの。これは大切なものを守りながら、懸命に生きようとする人々の抒情詩である。

メッセージが静かに心に迫ってきます

かつて昭和の時代に作られた日本映画のようなイメージの地味なタイトルに製作陣の想いが込められます。現代においては、随分(失)った映画かもしれません。日本の今そこにある危機を見て見ぬふりをしているのかこのままにしておいてはいいというメッセージが心に沁みこんでくるのです。劇中、高津川の流域で暮らす人々の営みが淡々と描かれ、それは、まるでファンタジーの世界のようです。人々が明日の幸せを夢みて働き、経済発展を遂げた昭和の時代には日本中どこでもあった自然豊かな風景がスクリーンいっぱいになり、俳優陣の演技を優しく包みます。日本の現在の問題を描きながらも、深みでは観られない全世代向けのシブタメ作品です。公開規模の小さな船出ですが、感動の波は多くの皆様にも届くものと信じます。ぜひスクリーンでご鑑賞ください。

出演者、スタッフと清流高津川が奏でる交響曲

ゆったりとした時間が流れ、スクリーンの中に溶けてしまったような錯覚を覚えるほどの優しい映画が誕生しました。日本一の清流、高津川流域で健気に生きる人々の姿と心。麻気(清)に沁みこんでいきます。監督は、中村麻矢、演出は主演の「日」船、中井貴一、主演のRAILOWAYS、49歳で電車の運転士になった男の物語、青柳翔主演の渾身の錦織良成主演は甲本雅裕、ヒロインに戸田菜穂、田口浩正、高橋長英、奈良岡朋子らのベテラン勢が胸を固め、大野いと、新人の石川雷蔵らの若手も爽やかな演技で魅せます。

物語 日本一の清流を舞台に描かれる物語は、感動をたたえて深く心にしみこんでくる山の上の牧場を経営している齊藤学(甲本雅裕)、歌舞伎の源流とも言われる「神楽の舞い」は地元の誇り。息子竜也が稽古をさぼりがちなことからこの地を離れるのではないかと心配している。そんな時、母校の小学校の閉校を知らされる。学は高津川上流のリゾート開発の話があることを、小学校の同級生である東京の弁護士の大庭誠に相談、地域の発展の起爆剤になるという誠を高津川に連れて行く。誠はそこで学だけが知る秘密を知らされることになる…。心の奥深くしみる物語は後半静かな転調をみせる。静かに胸が熱くなるシーンは必見。

大きな宣伝はありません。ご覧いただいた皆様の口コミが頼りです 《感想抜粋》

泣けて泣けて大変でした(50代女性)	幸せな気持ちでいっぱい(30代女性)	後半やばい、咆吼しそうになった(40代男性)	日本を誇りに思えた(40代男性)	今の時代を表している(50代女性)
時間があっという間でした(20代女性)	嘘くさくない演技、本音のメッセージ(50代男性)	すごい良かった(50代女性)	観元に足りなくなつた(20代男性)	清々しい涙が流れた(60代女性)
久しぶりに映画で感動した(70代女性)	清流のように心洗われる(60代女性)	映画でこんなに心を動かされたのは初めての経験(40代女性)	日本人みんなに見て欲しい(60代女性)	これはきっとあなたの物語
日本を誇りに思えた(40代男性)	鴨長明「方丈記」の冒頭の一節を思い出す(30代女性)	演技とは思えないほど役者が良かった(60代女性)	元気が出た(20代女性)	
最後まで涙が流れた(40代女性)	思わず人生を振り返っていた(70代女性)	こう来たかと、いい意味で裏切られた(30代男性)	この映画凄いい(60代女性)	
感動作(50代男性)	風の音、川のせせらぎ、言葉の一言一言が、まるで一編の詩のようだった(30代女性)			

▷主催・お問い合わせ NPO法人スサノオの風 0853-84-0833 takatsugawa-movie.jp

